

第三條 凶作不作ノ小作科減免調停ノ申出アルト

キハ當年ノ査定標準ニ從ヒ<sup>レ</sup>調停合ハ於テ其減

免率ヲ定メ爾後若ニ通達スルモノトス

第四條 凶作不作ニ關スル減免率ヲ定ムルニ付

ノ如シ

一、現定ノ附口米ヲ参考シテ其率ヲ定ム

凶作不作ト稱スルハ不可抗力ニ起因ス插宐

減収ヲ自己ノ怠慢又ハ耕作拙劣者不惟免

ヨリ主タル插宐減収ニ就テハ減免セズ

無施肥、無除草、官出駆除ノ租涵等ニ就テハ

之ヲ不惟免トシ生シタル插宐減収ト見做ス

三、凶作不作ニ依ル輕減ハ左ノ標準ニ依リ之ヲ

定ム

一、平年作ヨリ稍<sup>ニ</sup>輕微(三分以下位)ナル不作

ハ減免ノ講求ヲサス

平年作トハ普通及者リ五俵半ヲ標準ト

ス

第五條 土地ノ貸借境界ノ紛議等ニ關シテ事件院

生當時ノ現象ニ照シ裁量決定スルモノトス

第六條 紛議調停ノ夕ノ經費ヲ要シタル場合ハ委